

2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2017～18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー 氏



『大洗町』 写真提供：河合 隆 会員

9月は基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間です。

2017～2018年度(第60期 小原年度)

9月第2例会プログラム

9月14日(第2909回) VOL.9

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- クラブ奉仕研究会報告
- 社会奉仕研究会報告
- 国際奉仕研究会報告
- 米山カウンセラーセミナー報告
- にここBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

会 長
四つのテスト
親睦活動委員会

竹内 崇 クラブ管理運営委員長
岩瀬市朗 社会奉仕委員長
竹中廣夫 国際奉仕委員長
金澤幸江 米山記念奨学委員会副委員長
S.A.A
出席委員会
会 長
それこそロータリー

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)
U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>
例会場：L'AUBE Kasumigaura

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830
E-mail office@tsuchiura-rc.org
毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★
60th
ANNIVERSARY

会長挨拶

小原 芳道 会長

9月になり、大分涼しくなってきました。寒暖の差が大きいため、体調に気をつけて頂きたいと思います。

本日の週報に載っておりますが、土浦ローターアクトクラブの結成認定状が、RIより来ました。正式に7月28日をもって、再出発となりました。前回の例会に来ていただいたメンバーを含め、6名にてスタート致します。皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

さて、9月は基本的教育と識字率向上月間及びロータリーの友月間です。プログラム委員会により、すでに教育に関するプログラムが組まれておりますので、この機会に教育の重要性について考えて頂きたいと思います。土浦市では来年度より、小中一貫教育が完全実施されます。ご存じかと思いますが、新治地区では3小学校を統合し、新治中の敷地内に施設一体型の新治学園義務教育学校が来年4月開校いたします。その他の地区では施設分離型の小中一貫教育が始まりますので、皆様には今後の成果を見守っていただきたいと思います。識字率向上については、奉仕活動が難しいのですが、来日外国人のための日本語教育のボランティア支援活動などが考えられます。関係委員会で検討いただければと思います。

ロータリーの友月間が9月になりました。以前は雑誌月間として4月に行われていましたが、毎月第1例会に公共イメージ委員会より友の記事を紹介して頂いておりますので、毎月が友の月間といっても宜しいかと思えます。今後とも『友』よりの情報を活用して下さい。

結びになりますが、本日の理事会にて指名委員会の委員が決定いたしました。後ほど平島幹事より報告がありますが、指名委員会委員の皆様には次代のリーダーを選ぶ責務がございます。どうぞよろしく願い申しあげまして、9月の会長挨拶と致します。



第2820地区 ホームページより

基本的教育と識字率向上月間によせて

「基本的教育と識字率向上」は、ロータリーの6つの重点分野の1つとなっております。

世界には子どもたちが基本的な教育を受けられず、成人が読み書きできない国や地域があります。そうした地域で基本的教育を提供し、識字率を上げれば、そのほかの諸問題の解決（貧困の削減、健康状態の改善、地域社会と経済の発展、平和構築など）の糸口をつかむことができます。いま、全世界の子どもが初等教育を受けられるようにするには、あと170万人の教師が必要とされています。

基本的教育・識字が重視される理由は

1. すべての女性が初等教育を終了すれば妊婦の死亡率は66パーセント減少する
2. 読み書きのできる母親を持つ子どもは、読み書きできない母親と比べて、5歳以上まで生き延びる確立が50パーセント高い
3. 低所得国で全生徒が読み書きを習得した場合、1億7000万人が貧困から抜け出すことができる。これは全世界の貧困の12パーセントに相当する。

世界の現状はこのように悲惨な状況におちいっております。

アメリカのある地域では、非識字が原因で多くの問題が引き起こされております。識字率の欠如は貧困を生むだけではありません。医薬説明書を読めないために健康リスクが高まり、コンピューター社会の中で取り残され、地域経済の停滞を招いております。成人への識字教育に対する配慮が不十分のため、「読み書きができず、手に職をつけられない親の元で育ち、学校での限られた教育しか受けられない子どもたちが大勢いる。」と聞いております。

第2820地区には国際交流協会があり、地区に在住されているボランティアの方々が外国の方々に日本語を教えておられます。ロータリーが教育資材等を提供し、また市とも協力して、ぜひ多くの外国の方々が日本語を学べるようにしたいものです。身につけた読み書き能力は、一生、その人を支える力となります。この力を一つ一つ、地域で育てていきたい。それが私たちの目標ではないでしょうか。

ロータリーの友月間について

円城寺絃征 公共イメージ委員長

ロータリーの友は1953年1月に創刊されました。その半年前の1952年7月、それまでは1地区だった日本のロータリーが、東西2地区に分割されました。地区が分かれても、それまで一緒に活動してきた仲間同士、これからもコミュニケーションをとっていきましょうという当時のロータリアンの思いが、『友』の誕生につながりました。以後、毎月発行され、今年の1月号で創刊64年になりました。

『ロータリーの友』の名付け親は、投票によって、岐阜RC会員の遠藤謙三氏の案に決定しました。遠藤氏によると、雑誌『主婦の友』からヒントを得たと述べています。

『友』は創刊当時、全て横組みで編集されていました。しかし、「俳壇・歌壇」など横組みでは入れられないページが登場し、その後「卓話の泉」など縦組みで入れるページが増え、それらを巻末に掲載するようになり、反対側にも表紙をつけ、現在の形になりました。

縦組みと横組みの違いは、横組みにはR Iからの情報、ロータリー特別月間に関する特集、地域雑誌として掲載しなければならない情報（R I指定記事）などを掲載し、縦組みは創立当時のロータリアンの思いを継承するもの、つまり日本国内の仲間同士の交流の場です。

どちらが本当の表紙ということはありませんが、R Iの地域雑誌という意味では横組み、日本のロータリアンのコミュニケーションの場としての『友』なら縦組みからお読みいただくのがお勧めです。

昨年度の発行部数は、1ヵ月約9万6,000部で、2017年8月号については、9万5,200部でした。情報・コミュニケーションの場としてこれからも活用して下さい。



創刊号の表紙。定価は100円。当時、かけそば一杯20円、天丼並一杯100円。

幹事報告

第3回理事会報告 平成29年9月7日(木) 11:30～ 於：ローブ

- 指名委員会委員 承認の件→下記の構成のとおり承認された。
委員長 小原芳道 副委員長 沼田義雄
委員 廣瀬昭雄、大槻利夫、坂本史郎、飯山孝之、竹内 崇
- 土浦RC内規 変更の件→法人の場合の入会金の改定が承認された。
・前任者退会3年以内の入会：10,000円
・前任者退会5年以内の入会：20,000円
- 九州北部豪雨災害義損金拠出 承認の件
募金総額 44,000円に、クラブから16,000円を足した計6万円を拠出することが承認された。
- 土浦花火大会翌日(10/8) 清掃作業参加 承認の件
会員から会員からボランティアを募って参加することが承認された。
- 10月例会プログラム 承認の件→下記の通り承認された。

幹事報告

- 誠に残念ですが、一身上の都合により、井坂圭一会員が退会されました(8/24 臨時理事会で退会承認)。

2017-18年度 10月のプログラム予定

経済と地域社会の発展・米山月間

5日	理事会(4)、会長挨拶、誕生祝、結婚記念祝、入会記念祝、米山月間に因んで 金澤米山副委員長
12日	卓話「新土浦市立図書館について」 土浦市立図書館長 入沢弘子様
19日	クラブフォーラム、米山奨学生卓話 李文鑫 さん〈ロータリー学友参加推進週間〉
26日	ガバナー公式訪問 ガバナー卓話 保延輝文ガバナー、クラブ協議会(3)

